

# 会務報告

## ◇ 委員会報告 ◇

### ● 大会委員会

◆2015年11月28日（土）、日本語教育学会会議室において企画運営委員による2015年度第7回大会委員会を臨時で開催した。主な議題と審議の概要は以下のとおりである。

#### 1. 大会事業の再編について

9月に行われた各事業担当理事及び委員長による合同検討会議で提案された大会事業の再編案について、意見交換し、大会委員会（企画運営委員）としての考えや方向性について合意形成を図り、その後に行われた関係事業担当理事及び委員長による各種の合同会議および理事会での中長期事業計画の策定に向けた提案・意見として集約した。

#### 2. 2016年度春季大会 大会委員会企画パネルセッションについて

テーマおよび企画趣旨について10月に行われた常任理事会で承認された旨の報告があった。登壇者の一部から内諾を得て、全員が決定し次第、正式に依頼を行うことを確認した。

◆2016年2月13日（土）、日本語教育学会会議室において2015年度第8回大会委員会を開催した。主な議題と審議の概要は以下のとおりである。

#### 1. 2016年度春季大会（目白大学開催）準備の進捗状況について

まず、使用教室の手配状況、当日のタイムテーブル案を確認した。次に、大会委員会企画パネルセッションの内容を承認し、プログラム上の広報案を確認した。タイムテーブル上の枠については、本企画パネルも含め、公募パネルセッションのテーマ等を総合的に判断して決定することとした。また、チャレンジ支援委員会による催し、本学会会長による理念体系の説明会、調査研究推進委員会・社会啓発委員会による学会の社会的研究課題案及び社会的課題案に関する意見交換（ポスター形式）について実施を承認し、タイムテーブル上の枠を決定した。

#### 2. 2016年度春季大会発表者の選考について

審査の結果、口頭発表28件、ポスター発表16件、パネルセッション7件、デモンストレーション発表6件を採択した。後日、不採択者に送付するコメント執筆担当者を決定した。

#### 3. 2016年度秋季大会の企画・運営について

2016年度秋季大会で、会員団体発行の教材について紹介する「教材紹介コーナー」を実施すること、特別プログラムとして土曜の午前に俳句に関連するパネルディスカッションを無料公開で実施することを確認した。

#### 4. 大会事業中長期事業計画案について

大会連携合同会議で提案された大会事業の中長期事業計画案について意見交換し、今後、実施に向けて、新たな発表規程を大会委員会で策定することを確認した。その他の事項についても討議を行い、具体化に向け審議を継続することとした。

次回委員会予定：2016年4月9日（土）

（谷部弘子）

### ● 学会誌委員会

◆2016年3月13日（日）、日本語教育学会会議室にて委員会を開催した。163号の刊行準備、165号特集、『日本語教育』ウェブ公開に関する許諾手続きの各進捗状況についての報告の後、以下のとおり審議が行われた。

1. 164号のコラム「海外の学会から」の原稿執筆依頼候補の決定。
2. 164号投稿論文（投稿総数32本（研究論文16、調査報告4、実践報告7、研究ノート5）の審査。
3. 第1回『日本語教育』論文賞受賞候補論文の承認。
4. 168号特集（2017年12月号）の検討時期についての確認。
5. 『日本語教育』投稿規程の改定についての確認。
6. 学会誌事業の事業再編についての共有。

次回委員会予定：2016年7月9日（土）

（西郡仁朗）

### ● 研究集会委員会

#### ◆研究集会実施報告

##### 1. 2015年度第8回研究集会（東北地区）

日時：2015年11月21日（土）11：00-17：10

会場：秋田大学

参加者：47名（会員27名、一般20名）

内容：講演、研究発表（口頭9件）

講演講師：館岡洋子（早稲田大学）「日本語クラスにおける「多文化共生」とクリティカル・リーディング」

午前と午後に分かれて9件の発表があった。発表者は東北地区を中心に関東からも応募があった。内容は文法、学習者、コミュニケーション、教科書教材等さまざまで、バラエティ豊かな集会となった。大学院生の発表が5件と半数以上を占め、初めての発表を経験した方々も複数いた。一方で発表者以外の参加者にも大学院生や学部生の姿が比較的多くみられ、学生にとっても学ぶものが多い集会であったといえる。

講演では、現在実際に行われている授業に基づいた内

容が好評であった。グループごとに考えて意見を出す作業もあり、質疑応答では多くの質問が出されて予定時間を延長するなど、充実したものとなった。

(嶺岸玲子)

## 2. 2015年度第9回研究集会(中国地区)

日時: 2015年12月27日(日) 12:00-17:20

会場: 広島女学院大学

参加者: 100名(会員69名, 一般31名)

内容: 講演, 研究発表(口頭8件, ポスター9件)

講演講師: 岩田一成(聖心女子大学)「初級シラバス・教材・教授法の未来—文法から語彙へ—」

師走の慌ただししい時期の開催であったが, たくさんの参加を得て, 各会場で活発な議論が交わされた。中国地方だけでなく, 東京や大阪, 九州, 四国, さらに中国, イギリスなど, 幅広い地域から発表者が集まり, 会場にも大学・日本語学校関係者や大学院生など多様な背景をもつ人が集まった。研究発表のテーマは, 日中・日韓の対照研究, 文法指導, 活動型授業の実践紹介, 日本語教育史など多岐にわたった。岩田一成氏による講演は, 現行の文法シラバスをめぐるさまざまな問題点を指摘し, コミュニケーションに必要なシラバス・教材はどのようなものであるべきかを「語彙シラバス」の視座から考察したものであったが, 会場との意見交換も含め, 日本語授業や教材について問い直す貴重な機会となった。

(金愛蘭)

### ◆2016年度研究集会予定

- ・第1回研究集会(九州・沖縄地区)  
2016年4月23日(土)・24日(日), 佐賀大学
- ・第2回研究集会(中部地区)  
2016年6月11日(土), 愛知県立大学長久手キャンパス
- ・第3回研究集会(北陸地区)  
2016年6月26日(日), しいのき迎賓館(金沢市)
- ・第4回研究集会(北海道地区)  
2016年7月2日(土), 北海道大学国際本部グローバル教育推進センター  
※2016年3月の改組により会場名が「国際本部留学生センター」から「国際本部グローバル教育推進センター」へと変更になりました。
- ・第5回研究集会(関東地区) 実践研究フォーラム  
2016年8月6日(土)・7日(日), 東京外国語大学  
みんなの実践広場 出展応募締切: 5月9日(月)
- ・第6回研究集会(四国地区)  
2016年11月5日(土), 高知大学  
発表応募締切: 8月5日(金)
- ・第7回研究集会(東北地区)  
2016年11月26日(土), 東北大学附属図書館本館(川内南キャンパス)

発表応募締切: 8月予定

- ・第8回研究集会(中国地区)  
2016年12月10日(土), 山口大学, 発表応募締切: 9月11日(日)
- ・第9回研究集会(関西地区)  
2017年3月11日(土), 大阪YMCA国際専門学校  
発表応募締切: 11月10日(木)

※例年9月および3月と年2回開催しておりました関西地区研究集会は, 2016年度は9月は開催せず, 3月のみ年1回の開催となります。発表応募およびご参加予定の方はご注意ください。

※各地区研究集会のプログラム, 発表要旨, 発表募集情報等は, 日本語教育学会ウェブサイトの研究集会ページに掲載しています。

<http://www.nkg.or.jp/menu-syukai.htm>

### ◆会議記録

1. 関東地区委員会(実践研究フォーラム実行委員会)  
2015年度第6回関東地区委員会(2016年3月22日)

### ◆次回会議日程

1. 全体委員会  
2016年度第1回研究集会全体委員会(2016年5月22日), 目白大学(春季大会会場)
2. 地区代表者会議  
2016年度地区代表者会議(日時未定)
3. 関東地区委員会  
2016年度第1回関東地区委員会(2016年5月予定)

### ●教師研修委員会

#### ◆2015年度研修実施報告

1. 教室活動のデザインⅧ  
開催日: 2016年1月9日(土)・10日(日)  
会場: 政策研究大学院大学  
WS1(9日)「タスクを作ろう!—Task Based Language Teaching (TBLT)の知見を活かして—」  
講師: 百濟正和氏(英国・カーディフ大学)  
参加者: 38名  
WS2(10日)「聴く力を高める授業のデザイン—理論に基づいた実践のために—」  
講師: 福田倫子氏(文教大学), 横山紀子氏(国際交流基金日本語国際センター)  
参加者: 44名
2. 対話で紡ぐデジタル・ストーリーテリング—語りによるエンパワメントをめざして—  
講師: 小川明子氏(名古屋大学)  
開催日: 2016年3月5日(土)

会場：早稲田大学早稲田キャンパス  
定員：48名

◆2016年度研修予定

1. 演劇ワークショップ

講師：花崎攝氏（企業組合演劇デザインギルド）

開催日：2016年6月18日（土）

会場：東京大学駒場キャンパス

定員：30名

2. 夏季集中研修「ワークショップデザイン入門」

講師：森玲奈氏（帝京大学高等教育開発センター）

開催日：2016年8月25日（木）・26日（金）

会場：東京大学駒場キャンパス

定員：40名

3. ディープ・アクティブラーニング

講師：松下佳代氏（京都大学）

開催日：2016年9月予定

会場：東京大学駒場キャンパス

定員：30名

4. 反転授業－効果について考えよう－

講師：森朋子氏（関西大学教育推進部准教授・教育開発  
支援センター）

開催日：2016年10月22日（土）

会場：早稲田大学早稲田キャンパス予定

定員：40名

5. 第二言語読解の科学

講師：山下淳子氏（名古屋大学）

開催日：2016年11月12日（土）

会場：政策研究大学院大学予定

定員：80名

6. 批判的思考

開催日：2016年12月3日（土）・4日（日）

会場：未定（東京近郊）

定員：40名予定

7. フィールドワーク

開催日：2017年予定

会場：未定（東京近郊）

定員：40名

8. ティーチング・ポートフォリオ

開催日：2017年予定

会場：東京大学駒場キャンパス予定

定員：80名

※上記はいずれも予定のため、研修タイトルやテーマ、  
講師、日時、会場、定員等が変更する場合もございま  
す。各研修の募集詳細は決定次第、日本語教育学会ウ  
ェブサイトの教師研修ページに掲載します。

<http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm>

◆会議記録

1. 2015年度第4回教師研修委員会（2015年12月12日）

- (1) 2015年度研修実施報告
- (2) 2015年度研修進捗状況
- (3) 2016年度研修計画
- (4) その他
- (5) 次回会議予定

2. 2015年度第5回教師研修委員会（2016年2月21日）

- (1) 2015年度研修実施報告
- (2) 2015年度研修進捗状況
- (3) 2016年度研修計画
- (4) 2016年度教師研修事業終了について
- (5) 2016年度会議計画および次回会議日程
- (6) その他

◆次回会議日程

1. 2016年度第1回教師研修委員会（2016年4月16日）

（宇佐美洋）

## ◇ 事務局からのお知らせ

### ● 年度会費納入のお願い

当学会の事業活動の円滑な推進を通して、会員をはじめ関係者各位の教育・研究に資すること、並びに、海外における日本語教育活動との交流や支援に寄与することが一層求められています。学会の活動の重要性をぜひご理解賜り、会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。

ご送金の際は、必ず会員番号を通信欄に明記してください。

#### <会費納入方法>

- 郵便振込 00140-5-64631
- みずほ銀行新橋支店 (普)130-880757
- 現金書留
- クレジットカード支払 (海外在住者のみ受け付けます。事務局会員サービス係 (kaiin@nkg.or.jp) にお問い合わせください)。

### ● 年度会費自動引落システムのご案内

日本国内に銀行口座等をお持ちの方々を対象に、「年度会費の自動引落システム」をご用意しております。全国の金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・郵便局等)でご利用いただけます。詳しくは事務局会員サービス係 (kaiin@nkg.or.jp) までお問合せください。

#### <年度会費>

- 普通会员 10,000円 (年度額)
- 賛助会員 一口50,000円 (年度額)

### ● 住所等の変更について

所定の書式にご記入の上、郵便または下記のいずれかの連絡先にお知らせください。

FAX : 03-5216-7552 / E-mail : kaiin@nkg.or.jp
---

なお、メールアドレスを新設された方や、メールアドレスを変更された方は、①会員番号②氏名③名簿への記載の可否を、メールでお知らせください。タイトルは「学会員メールアドレス登録」としてください。電話での連絡は、ご遠慮願います。

### ● 学会誌メールアドレスについて

学会誌に関連するお問合せは、学会誌専用アドレスにご連絡ください。

学会誌専用 : gakkaiishi@nkg.or.jp